

下の段の5の実質収支額は、その上の4の翌年度へ繰り越すべき財源を差し引きました4億7,980万7,223円となりました。これが実質収支の額でございます。

以上が平成24年度一般会計歳入歳出決算の概要でございます。ご審査の上、ご認定賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○蒲生光男委員長 次に、認第1号の平成24年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算及び平成24年度長井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の2件について。

松本 弘市民課長。

○松本 弘市民課長 5年半ぶりの答弁席ということで大分緊張しておりますが、よろしくお願いいたします。

初めに、平成24年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明いたします。

歳入歳出決算書の12ページをお開きください。まず款ごとの決算額等についてご説明いたします。

歳入、1款国民健康保険税は、調定額9億1,737万9,729円に対し収入済額6億6,859万2,636円で、収入済額総額に占める割合、構成比は24.6%、収納率は72.9%となっています。調定額のうち2,271万5,868円を不納欠損処分いたしまして、収入未済額は2億2,607万6,025円となっています。予算現額と収入済額の比較では、1,359万4,636円の増となっています。

2款一部負担金につきましては、収入がございませんでした。予算現額との比較で11万2,000円の減となっています。

3款使用料及び手数料は43万700円で7万300円の減、4款国庫支出金は5億6,026万5,948円で4,449万6,052円の減、構成比は20.6%、5款療養給付費交付金は2億755万8,752円で6,046万2,248円の減、構成比は7.6%、6款前期高齢者交付金は6億1,039万5,020円で20円の増、構

成比は22.4%、7款県支出金は1億2,892万4,233円で1,371万9,767円の減、構成比は4.7%、8款共同事業交付金は2億7,511万4,249円で1,249円の増、構成比は10.1%、9款財産収入は13万2,000円で5万7,000円の増、10款繰入金は1億3,294万9,219円で6,651万2,781円の減、構成比は4.9%、11款繰越金は1億2,520万748円で589万9,748円の増、構成比は4.6%、12款諸収入は1,110万8,642円で749万5,358円の減、構成比は0.4%となっております。

歳入合計では、調定額29億6,945万9,240円に対し収入済額は前年度対比3.4%増の27億2,067万2,147円で、収入率は91.6%、予算現額との比較で1億7,331万5,853円の減となっております。

次に、歳出についてご説明いたしますので、14ページをお開きください。

歳出、1款総務費の支出済額は1,771万7,533円で、支出済額総額に占める割合、構成比は0.7%、予算現額から支出済額を差し引いた不用額は466万3,467円となっています。2款保険給付費は16億8,677万6,597円で不用額は2億8,074万3,403円、構成比は65.2%、3款後期高齢者支援金等は3億2,970万1,301円で不用額は699円、構成比は12.7%、4款前期高齢者支援金等は33万982円で不用額は1,018円、5款老人保健拠出金は13万2,075円で不用額は925円、6款介護納付金は1億4,939万511円で不用額は489円、構成比は5.8%、7款共同事業拠出金は2億7,658万9,450円で不用額は5,550円、構成比は10.7%、8款保健事業費は2,275万2,177円で不用額は68万16円、構成比は0.9%、9款基金積立金は7,000万円で構成比は2.7%、10款諸支出金は3,416万4,330円で不用額は1,050万8,670円、構成比は1.3%となっています。11款予備費からの支出はございませんでした。

歳出合計では、予算現額28億9,398万8,000円に対し支出済額は前年度対比3.3%増の25億

8,755万4,956円で、不用額は3億643万3,044円、予算執行率は89.4%となっております。歳入合計の収入済額27億2,067万2,147円から歳出合計の支出済額25億8,755万4,956円を差し引いた1億3,311万7,191円を平成25年度に繰り越して決算を終了しております。

次に、事項別明細書によりご説明いたしますので、153ページをお開きください。

歳入からご説明いたします。1款1項国民健康保険税については、1目の一般被保険者国民健康保険税が5億8,754万3,008円で、4節から6節までの滞納繰越分の調定額のうち2,150万5,749円を不納欠損処分しています。2目の退職被保険者等国民健康保険税は8,104万9,628円で、一般被保険者分と同様に4節から6節までの滞納繰越分で121万119円を不納欠損処分しています。1項合計では、前年度対比2.0%増の6億6,859万2,636円となっております。

次ページをお開きください。2款一部負担金については、さきの説明のとおりです。

3款1項手数料については、2目の督促手数料43万700円で2.2%の減となっております。

4款1項国庫負担金については、1目療養給付費等負担金が4億385万7,372円、2目高額医療費共同事業負担金が944万4,233円、3目特定健康診査等負担金が312万7,000円で、1項合計では14.8%減の4億1,642万8,605円、2項国庫補助金については、1目財政調整交付金が1億4,342万9,000円、2目出産育児一時金補助金が5万円、3目円滑運営事業費補助金が15万5,343円、4目災害臨時特例補助金が20万3,000円で、2項合計では17.1%減の1億4,383万7,343円となっております。

5款1項療養給付費交付金については、1目の退職被保険者等の療養給付費交付金1億2,901万4,876円と2目の退職被保険者等分の後期高齢者支援金相当額7,854万3,876円で4.4%増の2億755万8,752円となっております。

次ページをお開きください。6款1項前期高齢者交付金については、1目の前期高齢者交付金6億1,039万5,020円で19.0%の増となっております。

7款1項県負担金については、1目の高額医療費共同事業負担金944万4,233円、2目の特定健康診査等負担金310万8,000円で、1項合計では5.5%増の1,255万2,233円、2項県補助金については、1目の財政調整交付金1億1,637万2,000円で20.9%の増となっております。

8款1項共同事業交付金については、1目の高額医療費共同事業交付金5,178万4,979円、2目の保険財政共同安定化事業交付金2億2,332万9,270円で、1項合計では13.3%増の2億7,511万4,249円となっております。

9款1項財産運用収入については、1目の給付基金積立金の利子収入13万2,000円で34.2%の減となっております。

10款1項一般会計繰入金については、1目1節4,226万2,805円の内訳として、事務費分709万9,471円、財政安定化支援事業分1,904万円、出産育児一時金分779万3,334円、国庫負担金減額相当分833万円と2節の保険基盤安定繰入金9,068万6,414円で12.2%増の1億3,294万9,219円となっております。2項基金繰入金については、予算現額で6,494万8,000円を計上していたものの、執行いたしませんでした。

11款1項繰越金については、1目の療養給付費交付金繰越金748万3,248円、2目の前年度繰越金1億1,771万7,500円で、1項合計では85.4%増の1億2,520万748円となっております。

12款1項延滞金については、1目の一般被保険者保険税延滞金338万4,735円、次ページをお開きください。2目の退職被保険者等保険税延滞金82万1,814円で、1項合計では24.3%増の420万6,549円となっております。2項預金利子については、収入がありませんでした。3項雑入については、1目の一般被保険者に係る第三者

行為損害賠償納付金303万8,738円、3目の一般被保険者返納金155万7,688円、5目の特定健康診査個人負担金127万9,000円などで67.7%増の690万2,093円となっています。

次に、歳出についてご説明いたします。

1款1項総務管理費については、1目一般管理費が1,351万6,876円で、2目連合会負担金が257万1,000円で、1項合計では8.4%減の1,608万7,876円、2項徴税費については1目の賦課徴収費120万3,512円で3.4%の増、3項運営協議会費については3.4%増の13万8,970円、次ページをお開きください。4項趣旨普及費については、パンフレットの印刷製本費で0.5%増の28万7,175円となっています。

2款1項療養諸費については、一般被保険者分が1目と3目の合計で1.8%減の13億3,189万1,020円、退職被保険者等分が2目と4目の合計で2.2%減の1億6,485万9,477円、5目の審査支払い手数料が570万410円となり、1項合計では1.0%減の15億245万907円、2項高額療養費については、一般被保険者分が1目及び3目の合計で2.1%増の1億5,001万8,236円、退職被保険者等分が2目と4目の合計で21.0%増の2,018万2,346円となり、2項合計では4.1%増の1億7,020万582円、3項移送費は57.1%減の1万5,108円、4項出産育児諸費は28件分の出産育児一時金で3.7%増の1,176万円、5項葬祭諸費は47件分の葬祭費で2.2%増の235万円となっております。

次ページをお開きください。3款1項後期高齢者支援金等については、後期高齢者医療制度の費用の約4割を負担するもので、0.6%増の3億2,970万1,301円となっています。

4款1項前期高齢者支援金等については、65歳以上75歳未満の加入者に係る給付費及び後期高齢者支援金について各保険者間の前期高齢者の偏在による負担の不均衡を調整するもので、65.9%減の33万982円となっています。

5款1項老人保健拠出金は81.8%減の13万2,075円、6款1項介護納付金は2.4%減の1億4,939万511円、7款1項同事業拠出金については、1目の高額医療費同事業拠出金3,736万4,063円、2目の保険財政共同安定化事業拠出金2億3,922万4,334円などで、1項合計では1.1%増の2億7,658万9,450円となっています。

8款1項特定健康診査等事業費については、16.2%増の1,950万2,610円、2項保健事業費は、1目の医療費通知事業176万4,710円などで36.7%増の324万9,567円となっています。

次ページをお開きください。9款1項基金積立金については、給付基金への積立金7,000万円で、皆増となっています。

10款1項償還金及び還付加算金については、1目及び2目の保険税還付金合計で217万9,700円、3目の国庫支出金等精算償還金3,092万2,926円などで127.4%増の3,335万2,376円となっています。なお、4目の一般会計繰出金については、保険基盤安定制度負担金の精算に伴い一般会計の超過負担となった差額を一般会計に返還したものです。2項貸付金については、高額療養費の貸付金で20.5%減の61万7,000円、3項指定公費給付金については119.3%増の19万4,954円となっています。

11款予備費については、さきの説明のとおりでございます。

以上が平成24年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の概要でございます。

続いて、平成24年度長井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算についてご説明いたしますので、42ページをお開きください。

歳入からご説明いたします。

1款後期高齢者医療保険料は調定額1億8,510万6,291円に対し収入済額1億8,312万5,283円で、収入済額総額に占める割合、構成比は62.4%、収納率は98.9%となっています。調定額のうち34万6,800円を不納欠損処分し、

収入未済額は164万3,008円となっています。予算現額と収入済額との比較では508万2,717円の減となっています。

2款使用料及び手数料は6万6,700円で9,700円の増、3款繰入金は1億557万6,143円で58万9,857円の減、構成比は36.0%、4款繰越金は452万6,420円で580円の減、5款諸収入は32万7,150円で1万3,150円の増となっています。

歳入合計では、調定額2億9,560万2,704円に対し収入済額2億9,362万1,696円で、収入率は99.3%、予算現額との比較で565万304円の減となっています。

次に、歳出についてご説明いたします。

1款総務費の支出済額は484万7,187円で支出済額総額に占める割合、構成比は1.7%、予算現額から支出済額を差し引いた不用額は56万2,813円となっています。

2款後期高齢者医療広域連合納付金は2億8,456万4,509円で不用額は899万6,491円、構成比は98.3%、3款諸支出金は10万900円で不用額は20万100円となっています。

歳出合計では、予算現額2億9,927万2,000円に対し支出済額2億8,951万2,596円で不用額は975万9,404円、予算執行率は96.7%となっています。

歳入合計の収入済額2億9,362万1,696円から歳出合計の支出済額2億8,951万2,596円を差し引いた410万9,100円を平成25年度に繰り越して決算を終了しています。

次に、事項別明細書によりご説明いたしますので、201ページをお開きください。

歳入からご説明いたします。

1款1項後期高齢者医療保険料については、1目の特別徴収保険料が1億3,118万3,700円で前年度対比6.3%の増、2目の普通徴収保険料は5,194万1,583円で5.7%の増となっています。2節の滞納繰越分で調定額のうち34万6,800円を不納欠損処分しています。1項合計では

6.1%増の1億8,312万5,283円となっています。

2款1項手数料については、保険料の督促手数料で6.7%増の6万6,700円、3款1項一般会計繰入金については、1目の事務費繰入金2,173万583円、2目の保険基盤安定繰入金8,384万5,560円で、1項合計では0.8%増の1億557万6,143円、4款1項繰越金は16.4%増の452万6,420円となっています。

次のページをお開きください。5款1項延滞金及び過料は保険料の延滞金で8万5,700円、2項償還金及び還付加算金は保険料還付金で22万1,900円、3項預金利子は収入がなく、4項雑入は特別対策補助金で1万9,550円となっています。

次に、歳出についてご説明いたします。

1款1項総務管理費については、後期高齢者医療制度の事務処理に要する経費で、前年度対比6.2%減の39万1,256円、2項徴収費については、保険料の賦課徴収事務に要する経費で電算業務委託料386万8,500円などで18.0%減の445万5,931円となっています。

2款1項後期高齢者医療広域連合納付金については5.1%増の2億8,456万4,509円で保険料等負担金が1億8,374万9,103円、保険基盤安定制度分が8,384万5,560円、事務費負担金が1,696万9,846円となっています。

3款1項償還金及び還付加算金については、1目の保険料還付金10万900円で289.6%の増となっております。

以上でございますが、よろしくご審査の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○蒲生光男委員長 次に、認第1号 平成24年度長井市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算及び平成24年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算並びに平成24年度長井市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の3件について。

渡部政明上下水道課長。

○渡部政明上下水道課長 平成24年度長井市公共

下水道事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の18ページをお開き願います。

歳入につきましては、収入済額合計は、使用料及び手数料、国庫支出金や一般会計繰入金が増により前年度対比5,503万2,138円、3.5%増の16億1,552万9,788円で、調定額に対し99%となりました。

19ページをお願いいたします。歳出についてご説明申し上げます。

支出済額合計は公共下水道管理センター改築更新工事などの委託料の増などにより前年度対比5,682万9,416円、3.7%増の16億1,119万140円で、予算現額に対する執行率は95.8%となっております。なお、翌年度繰越額については、繰越明許費でございます。

20ページをお願いいたします。歳入歳出差し引き残額は433万9,648円となり、翌年度に繰り越すものがございます。

それでは、事項別明細書によりご説明申し上げます。

167ページをお開き願います。歳入については、1款分担金及び負担金、1項1目下水道受益者負担金、収入済額は1,635万6,220円で歳入総額の1.0%となり、収入率は現年度分で93.8%、滞納繰越分で15.1%となっております。

2款使用料及び手数料、1項1目下水道使用料につきましては、収入済額は前年度対比826万490円増の3億254万6,622円で、歳入総額の18.7%となっております。収納率は現年度分で98.6%、滞納繰越分で37.5%となっております。また、不納欠損額は21件で32万3,845円が生じております。これは転出後、行方不明などにより時効になったものなど、収入不可能と判断し、不納欠損処分させていただいたものがございます。2目下水路使用料は41万460円、3款国庫支出金、1項1目下水道事業費国庫補助金は社会資本整備総合交付金、汚水処理施設整備交付

金など前年度繰越明許分も含め1億9,687万9,000円で、収入総額の12.2%となっており、4款繰入金、1項1目一般会計繰入金は7億3,156万円で、歳入総額の45.3%となっております。

168ページをお開き願います。5款繰越金、1項1目繰越金は前年度繰越金の613万6,926円、6款諸収入、1項1目延滞金は受益者負担金の30万5,000円、3項1目雑入は90万9,000円で、備考欄記載のとおりでございます。

7款市債、1項1目下水道事業債につきましては、前年度繰越明許分を含め3億6,040万円で、歳入総額の22.3%となっております。

次ページをお願いいたします。歳出につきましてご説明申し上げます。

1款公共下水道事業費、1項公共下水道事業費につきましては、支出済額5億5,675万8,439円、翌年度繰越額6,520万円で、予算現額に対する執行率は88.8%となっております。うち1目公共下水道総務費は4,262万4,922円で、主なもので、職員人件費、下水道使用料徴収等事務及び電算処理業務などの委託料、置広共同処理事務分担金や排水設備等設置改造資金利子補給金、そのほか関係諸団体への負担金などがございます。2目公共下水道事業費は4億3,201万6,280円で、主なもので、職員人件費と、次の170ページをお願いいたします。備考欄で、公共下水道管理センター改築更新工事委託料、前年度繰り越し分も含めて2億4,760万円、そのほか実施設計及び下水道施設台帳整備業務などの委託料、また汚水管の布設工事で補助、単独分を合わせた発注件数14件の工事請負費1億4,558万5,650円のほか、下水道工事に伴う上水道移転補償費などがございます。

なお、繰越明許費につきましては、年度内完成できなかった汚水管路布設工事請負費で6,520万円を翌年度に明許繰り越しをいたしました。

平成24年度の汚水管路布設工事は台町、草岡、五十川地区それぞれの一部で実施し、平成24年度末の整備率は前年度より1.2%アップの93.0%に達しております。

次のページ、お願いいたします。3目管渠管理費は736万261円で、主に下水道取付管等の補修及び雨水幹線維持管理工事などの工事請負費などがございます。4目管理センター費は7,475万6,976円で、主なもので、備考欄のとおり汚泥の濃縮及び消臭用の薬品費や処理施設の光熱水費に管理センター運転・保守点検業務委託料3,263万4,000円及び脱水ケーキ処分委託料2,012万1,062円など、そのほか管理センターの管理及び機械設備等の清掃、点検等の委託料でございます。

2款1項公債費につきましては、10億5,443万1,701円で、1目元金は長期債償還元金の8億5,350万9,745円、172ページをお開き願います。2目利子は、長期債利子の2億92万1,956円でございます。

以上が平成24年度長井市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。

続きまして、平成24年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の26ページをお開き願います。歳入につきましては、収入済額合計は前年度対比457万6,008円、3.1%減の1億4,459万6,605円となり、調定額に対し99.3%となっております。

次ページ、27ページをお開き願います。歳出につきましては、支出済額合計は前年度対比491万906円、3.3%減の1億4,374万9,964円となりました。予算現額に対する執行率は98.6%となっております。

次の28ページをお開き願います。歳入歳出差し引き残額は84万6,641円となり、翌年度に繰り越しをしたところでございます。

それでは、事項別明細書によりご説明申し上げ

げます。177ページをお開き願います。

歳入につきましては、1款分担金及び負担金、1項1目農業集落排水事業分担金は、今泉地区、大久保地区ともございました。

2款使用料及び手数料、1項1目施設使用料につきましては、収入済額は前年度より297万5,175円減の5,497万3,862円、今泉地区、大久保地区の処理施設使用料でございます。収納率は現年度分で98.7%、滞納繰越分で78.4%となり、不納欠損額は2件で1万4,381円が生じており、転出後、行方不明などにより時効になったものなど、収入不可能と判断し、不納欠損処分とさせていただいたものでございます。

3款繰入金、1項1目一般会計繰入金は前年度対比6.4%増の8,911万1,000円で、歳入総額の61.6%となっております。

4款繰越金は前年度繰越金51万1,743円であります。

179ページをお開き願います。歳出につきましてご説明申し上げます。

1款1項農業集落排水事業費につきましては、支出済額3,821万7,765円で、予算現額に対する執行率は95.0%でございます。うち1目農業集落排水事業総務費は1,281万6,317円で、主なもので、職員人件費、使用料徴収等事務委託料及び公課費として消費税納付額などがございます。2目今泉排水施設運営費は1,717万602円で、処理施設の光熱水費、日常及び基本運転点検業務委託料などが主なものでございます。3目大久保排水施設運営費は823万846円で、備考欄に記載しております処理施設の光熱水費、次のページになりますが、日常及び基本運転点検業務委託料などがございます。

2款1項公債費につきましては1億553万2,119円で、1目元金は長期債償還元金で7,508万2,853円、2目利子は長期債利子の3,044万9,346円でございます。

以上が平成24年度長井市農業集落排水事業特

別会計歳入歳出決算の概要でございます。

続きまして、平成24年度長井市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。決算書の38ページをお開き願います。

最初に、歳入につきましては、浄化槽設置基数の減少に伴いまして国庫補助金、下水道事業債が減となりましたが、新規増加分による使用料及び手数料の増、一般会計繰入金の増、さらに山形県浄化槽水環境保全推進事業費補助金の創設により県支出金の皆増により、収入済額合計は前年度対比554万2,805円、7.1%増の8,319万3,021円で、調定額に対して100%となっております。

39ページをお願いいたします。歳出につきましては、浄化槽設置事業費及び公債費の増から支出済額合計は前年度対比534万4,928円、6.9%増の8,269万2,449円で、予算現額に対する執行率は97.5%となっております。

次のページ、40ページをお願いいたします。歳入歳出差し引き残額は50万576円となり、翌年度に繰り越しいたしました。

それでは、事項別明細書によりご説明申し上げます。197ページをお開き願います。

歳入につきましては、1款分担金及び負担金、1項1目浄化槽事業分担金は収入済額642万5,000円で、収納率は100%でございます。

2款使用料及び手数料、1項1目浄化槽使用料及び2目督促手数料は収入済額2,402万1,811円で、収入未済額はございません。

3款国庫支出金、1項1目特定地域生活排水処理事業国庫補助金は1,870万6,000円で、歳入総額の22.5%となり、4款繰入金、1項1目一般会計繰入金は1,325万8,000円で、歳入総額の15.9%となっております。

5款繰越金は前年度繰越金の30万2,699円、6款諸収入の81万4,511円は、次のページになりますが、3項1目雑入の消費税還付金などでございます。

7款市債、1項1目下水道事業債につきましては1,720万円で、歳入総額の20.7%となっております。

8款県支出金、1項1目特定地域生活排水処理事業費県補助金につきましては、平成24年度に創設されたもので、246万5,000円となっております。皆増であります。

続いて、199ページをお願いいたします。歳出についてご説明申し上げます。

1款1項浄化槽事業費につきましては、支出済額7,394万4,058円で、予算現額に対する執行率は97.3%でございます。うち1目浄化槽事業総務費は2,461万9,327円で、主なもので浄化槽検査手数料205万円及び浄化槽保守点検清掃委託料1,799万700円、長井市浄化槽転換事業補助金246万5,000円などでございます。2目浄化槽事業費は4,932万4,731円で、主なもので浄化槽設置工事請負費40基分4,018万2,450円、放流ポンプ等設置補助金5件分で25万円、そのほか職員の人件費などでございます。

2款1項公債費につきましては874万8,387円で、1目元金は長期債償還元金で381万9,408円、次のページ、200ページ、お願いいたします。2目利子は長期債利子の492万8,979円でございます。

以上が平成24年度浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。

以上、特別会計決算3件につきまして、よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○蒲生光男委員長 次に、認第1号 平成24年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算について。

鈴木一則企画調整課長。

○鈴木一則企画調整課長 おはようございます。

平成24年度山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明いたします。

先に決算書の22ページをごらんいただきたい

と思います。歳入でございますが、分担金及び負担金、財産収入、繰入金、繰越金、諸収入等で前年度比13.1%増の1億3,774万9,000円となりました。調定額は1億3,174万7,565円、収入済額は1億3,174万7,565円、同額でございます。

続いて、歳出をごらんください。山形鉄道助成費及び基金積立金合計で前年度比9.5%増の1億3,774万9,000円となっております。支出済額は1億2,754万7,565円、執行率は92.5%、また翌年度繰り越し分として900万円を繰り越しさせていただきました。不用額は120万1,435円でございます。

続いて、事項別明細書によりご説明いたしますので、173ページをごらんください。

歳入についてご説明いたします。

1 款分担金及び負担金、1 目山形鉄道運営費助成負担金でございます。予算現額は4,398万円、収入済額、同額でございます。長井市を除く県、1 市2 町の負担金でございます、昨年同額でございます。

2 款財産収入、1 目利子及び配当金、予算現額14万9,000円、収入済額14万7,565円でございます。基金の利子でございます。

3 款繰入金、1 目一般会計繰入金、予算現額1,602万円、これは収入済額同額でございます。これは長井市の運営負担分でございます。金額につきましては、昨年同額でございます。2 目基金繰入金、当初予算6,000万円に国の鉄道老朽化対策事業の地方負担分と事業負担分として420万円を基金から繰り出しまして、現額として6,420万円、収入済額につきましては6,300万円でございます。

5 款諸収入、1 目雑入、予算現額860万円、収入済額、同額でございます。これは平成23年度運営助成費補助金の確定によります還付金でございます。

続きまして、175ページをごらんください。歳出でございます。

1 款山形鉄道助成費、1 目の運営助成費でございます。当初予算6,000万円に900万円の補正を行いまして6,900万円の予算現額でございます。支出済額として5,880万円、さらに翌年度繰り越し分として鉄道老朽化対策事業分、平成24年度分で国の事業ができましたので、これにつまましての900万円につまましては25年度に繰り越しをいたしました。

2 款基金積立金、1 目基金積立金、当初予算6,014万9,000円に補正額860万円を補正をいたしまして、予算現額6,874万9,000円となっております。支出済額は6,874万7,563円、基金に積み立てをいたしております。

以上が山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○蒲生光男委員長 次に、認第1号 平成24年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算について。

梅津明夫健康課長。

○梅津明夫健康課長 平成24年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書30ページをお開きください。初めに歳入でございますが、収入済額合計は前年度比54万5,118円、2.5%減の2,149万3,760円でございます。収入の内訳といたしましては、療養費交付金、利用料、県補助金、一般会計繰入金、繰越金、雑入でございます。

下のページに参りまして、歳出の事業費といたしまして、支出済額が前年度比54万5,058円、2.5%減の2,139万3,341円でございます。

32ページをお開きください。歳入歳出の差し引き残額10万419円を翌年度に繰り越すものがございます。

次に、事項別明細書によりご説明申し上げます。181ページをごらんください。

歳入でございますが、1 款1 項療養費交付金、

1 目訪問看護費交付金は、収入済額1,108万3,731円で、前年度に比べ3万7,254円、0.3%の増となりました。内訳といたしましては、介護保険分787万7,826円、医療保険分320万5,905円で行いました。訪問看護延べ回数は1,303回で、前年が1,310回で行いましたので、前年とほぼ同等で行いました。

2 款 1 項 1 目利用料は、収入済額115万6,249円で、内訳は介護保険、医療保険の利用者負担分と保険外の交通費等で行いました。前年度に比べ11万754円、10.6%の増となっております。

3 款 1 項 1 目訪問看護費県補助金は、収入済額173万9,801円で、前年度に比べ5万2,471円、2.9%の減となりました。山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費補助金で行います。

4 款 1 項 1 目一般会計繰入金は、収入済額741万2,000円で、前年度に比べ64万1,000円、8%の減となっております。

5 款 1 項 1 目繰越金は、収入済額10万479円で行います。

6 款 諸収入、1 項 1 目雑入は、収入済額1,500円で、国保協力金で行います。

次に、歳出について説明申し上げます。183ページをごらんください。

1 款 1 項 事業費、1 目訪問看護事業費、支出済額2,139万3,341円で、内訳の2、3、4 節につきましては、職員人件費として、給料、職員手当等、共済費で行います。7 節賃金399万5,032円につきましては、定時補助職員及びパート看護師3名及び山形県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業対象の定時補助職員1名の雇い上げ分で行います。9 節旅費4,000円は普通旅費で行います。11 節需用費37万9,210円は公用車の修理代、燃料費、医療材料費、消耗品等で行います。12 節役務費29万5,390円は車検時手数料及び自賠責保険料、電話料、看護時の被服洗濯、クリーニング手数料等で行いま

す。13 節委託料34万9,660円は訪問看護支援システム保守管理委託料、定時補助職員健康診断委託料で行います。14 節使用料及び賃借料4万3,224円は請求事務、患者情報管理等に使用している訪問看護支援ソフトのリース料等で行います。19 節負担金補助及び交付金1万3,000円は山形県内の訪問看護ステーションで組織しています訪問看護ステーション連絡協議会の年会費等で行います。27 節公課費1万3,200円は車検時の自動車重量税で行います。

以上、平成24年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算の概要につきましてご説明申し上げます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願いいたします。

○蒲生光男委員長 次に、認第1号 平成24年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算について。

松木幸嗣福祉生活あんしん課長。

○松木幸嗣福祉生活あんしん課長 平成24年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

歳入歳出決算書の34ページをお開きください。最初に、款ごとの決算額等について歳入からご説明申し上げます。

1 款 介護保険料は調定額4億6,839万4,837円に対し収入済額4億5,760万7,050円で、収入済額総額に占める割合、構成比は17.2%、収納率は97.7%となっております。調定額のうち242万9,811円を不納欠損処分し、収入未済額は838万9,576円となっております。予算現額と収入済額の比較では、807万3,050円の増となっております。

2 款 使用料及び手数料は収入済額9万940円で、予算現額に対し2万940円の増となりました。

3 款 国庫支出金は収入済額6億4,719万1,067円で、予算現額に対し906万7,933円の減となり、構成比は24.3%となりました。

4 款 支払基金交付金は収入済額7億4,303万

5,396円で、予算現額に対し810万9,604円の減となり、構成比は27.9%となりました。

5 款県支出金は収入済額 4 億650万5,497円で、予算現額に対し466万7,503円の減となり、構成比は15.3%となりました。

6 款財産収入は収入済額28万8,728円で、予算現額に対し13万272円の減となりました。

7 款繰入金は収入済額 3 億8,607万5,169円で、予算現額に対し2,640万6,831円の減となり、構成比は14.5%となりました。

8 款繰越金は収入済額2,434万9,137円で、予算現額に対し637円の増となりました。構成比は0.9%となりました。

9 款諸収入は収入済額43万1,654円で、収入未済額は 1 万500円で、予算現額に対し18万2,654円の増となりました。

収入合計は、調定額26億7,637万2,925円に対し収入済額は前年度対比5.2%増の26億6,557万4,638円で、収入率は99.6%、予算現額に対し4,010万4,862円の減となりました。

次に、35ページをごらんください。歳出についてご説明いたします。

1 款総務費の支出済額は3,289万2,273円で、支出済額総額に占める割合は1.2%、不用額は206万3,227円となりました。

2 款保険給付費の支出済額25億899万8,647円で、不用額3,903万2,353円となり、構成比は94.7%となりました。

3 款地域支援事業費の支出済額7,906万5,611円で、不用額593万7,389円、構成比は3.0%となりました。

4 款基金積立金の支出済額1,942万8,074円で、不用額は13万926円、構成比は0.7%となりました。

5 款諸支出金の支出済額803万1,106円で、支出済額は 9 万9,894円、構成比は0.3%となりました。

6 款予備費からの支出はございませんでした。

歳出合計額では、予算現額27億567万9,500円に対し支出済額が前年度対比5.5%増の26億4,841万5,111円で、不用額は5,726万3,789円、予算執行率は97.9%となりました。歳入合計の収入済額26億6,557万4,638円から歳出合計の支出済額26億4,841万5,711円を差し引いた1,715万8,927円を翌年度に繰り越しさせていただいたものでございます。

次に、事項別明細書によりご説明申し上げます。185ページをお開きください。

1 款 1 項介護保険料は、収入済額が前年度対比8.9%増で 4 億5,760万7,050円となり、第 1 号被保険者保険料です。

2 款 1 項手数料は、収入済額が前年度対比3.7%増で 9 万940円となり、介護保険料の督促手数料です。

3 款 1 項国庫負担金は、収入済額が前年度対比3.3%増で 4 億3,888万8,007円となり、介護給付費負担金です。

2 項国庫補助金については、1 目調整交付金が 1 億8,188万7,000円、2 目地域支援事業交付金が2,403万7,060円、186ページをお開きください。3 目介護保険事業補助金が230万2,000円、4 目介護保険災害臨時特例補助金が 7 万7,000円、2 項合計で前年度対比4.4%増の 2 億830万3,060円となりました。

4 款 1 項支払基金交付金につきましては、1 目介護給付交付金が 7 億2,890万9,000円、2 目地域支援事業支援交付金が1,412万6,396円で、1 項合計で、収入済額が前年度対比0.7%増で 7 億4,303万5,396円となりました。

5 款 1 項県負担金は、収入済額が前年度対比4.0%増で 3 億7,518万4,306円となり、介護給付費負担金です。

2 項県補助金は、前年度対比3.1%増で1,218万1,845円となり、地域支援事業交付金です。

3 項財政安定化基金支出金は皆増で1,913万9,346円となり、山形県介護保険財政安定化基

金条例の改正により平成24年度限りの特例として交付されたものでございます。

187ページをごらんください。6款1項財産運用収入は、収入済額が前年度対比1.6%減で28万8,728円となり、基金積立金利息収入です。

7款1項一般会計繰入金は、1目介護給付費繰入金が3億1,362万4,830円で、2目地域支援事業繰入金が1,464万1,566円で、3目その他一般会計繰入金が2,884万1,773円で、1項合計では、収入済額が前年度対比4.1%増で3億5,710万8,169円となりました。

2項基金繰入金は、収入済額が前年度対比38.3%増で2,896万7,000円となりました。

8款1項繰越金は、収入済額が前年度対比68.8%増で2,434万9,137円となりました。

188ページをお開きください。9款1項延滞金加算金及び過料は、収入済額が前年度対比39.1%減で11万590円となり、第1号被保険者の介護保険料の延滞金です。

2項雑入は、収入済額が前年度対比26.3%減で32万1,064円となり、地域支援事業利用者負担金等でございます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。189ページをごらんください。

1款1項総務管理費は、支出済額が前年度対比95.4%増で1,329万2,484円となり、一般管理費でございます。

2項徴収費は、支出済額が前年度対比0.4%減で90万9,844円となり、賦課徴収費でございます。

3項介護認定審査会費は、1目介護認定審査会費が334万2,142円で、2目認定調査等費693万5,563円で、3目主治医意見書費828万8,970円で、3項合計支出済額が前年度対比0.3%減で1,856万6,675円となりました。

190ページをお開きください。4項趣旨普及費は、支出済額が前年度対比96.0%減で3,570円となりました。5項地域ケア包括会議は、支

出済額が前年度対比39.8%減で11万9,700円となりました。

2款1項介護サービス等諸費は、支出済額が前年度対比4.5%増で22億5,326万3,258円となり、要介護認定者を対象とした介護サービス等給付費でございます。191ページをごらんください。

2項介護予防サービス等諸費は、支出済額が前年度対比1.8%増で1億1,779万2,069円となり、要支援認定者を対象とした介護予防サービス等給付費でございます。

3項その他諸費は、支出済額が前年度対比2.7%減で282万6,218円となり、審査支払手数料でございます。

4項高額介護サービス等費は、支出済額が前年度対比6.4%増で4,115万8,137円となり、利用者負担が著しく高額になった場合の負担を軽減する保険給付費であります。

5項高額医療合算介護サービス等費は支出済額が前年度対比1.6%増で436万8,155円となり、医療及び介護利用者の負担を軽減する措置で、一定の上限を超える額を給付するものでございます。

192ページをお開きください。6項特別短期入所サービス費の支出はございませんでした。

7項特定入所者介護サービス等費は、支出済額が前年度対比1.1%増で8,959万810円となり、施設サービス利用時の居住費、食費負担等、低所得者の軽減分を補填するための給付でございます。

3款1項介護予防事業費は、1目2次予防事業費が1,063万2,990円で、193ページをごらんください。2目1次予防事業費が2,952万755円でございます。1項合計は、支出済額が前年度対比8.9%増で4,015万3,745円となりました。

2項包括的支援事業・任意事業は1目介護予防マネジメント事業費が700万9,656円で、194ページをお開きください。2目総合相談支援、

権利擁護事業費が1,434万5,790円で、3目包括的・継続的マネジメント事業が1,037万7,974円で、4目任意事業が717万8,446円で、2項合計、支出済額が前年度対比1.5%増で3,891万1,866円となりました。

195ページをごらんください。4款1項基金積立金は、支出済額が前年度対比6,522.6%増で1,942万8,074円となり、介護給付費準備基金積立金でございます。

5款1項償還金及び還付加算金は、1目第1号被保険者保険料還付金が20万900円、2目償還金が783万206円で、1項合計支出済額が前年度対比348.5%増で803万1,106円となりました。

6款の予備費の支出はございません。

以上、平成24年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○蒲生光男委員長 次に、認第1号 平成24年度長井市宅地開発事業特別会計歳入歳出決算について。

浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 46ページをお開き願いたいと思います。

平成24年度長井市宅地開発事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の歳入につきましては、収入済額合計が680万円で、調定額に対しまして100%となっております。

次ページの歳出につきましては、支出済額合計680万円で、予算現額に対する執行率は100%となっております。

それでは、事項別明細書によりご説明申し上げます。

205ページをお開き願います。先に歳入でございますが、1款1項市債、1目宅地開発事業債は、予算現額、調定額及び収入済額とも680万円となっております。

次ページの歳出につきましてご説明申し上げます。1款宅地開発事業費、1項1目宅地造成費につきましては、13節宅地開発事業調査設計業務委託料672万1,050円、需用費と使用料及び賃借料を合わせまして支出済額が680万円で、予算現額に対する執行率は100%になっております。

以上が平成24年度長井市宅地開発事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご承認賜りますようお願い申し上げます。

○蒲生光男委員長 ここで昼食のため暫時休憩いたします。

再開は午後1時といたします。

午前 11時58分 休憩

午後 1時00分 再開

○蒲生光男委員長 午前に引き続き決算概要の説明を続行いたします。

認第2号 平成24年度長井市水道事業会計決算認定について 議案第58号 平成24年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

○蒲生光男委員長 次に、認第2号 平成24年度長井市水道事業会計決算認定について及び議案第58号 平成24年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分についての2件について。

渡部政明上下水道課長。

○渡部政明上下水道課長 認第2号 平成24年度長井市水道事業会計決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書229ページ、水道1ページをお開き願います。以降、水道ページで申し上げますので、よろしくお願ひ申し上げます。

それでは、決算報告書からご説明申し上げます。

これは予算額に対する決算額の対比を消費税込みで記載しております。初めに、収益的収入及び支出につきましては、収入の第1款水道事業収益の決算額は6億5,348万943円で、予算額に対し178万7,057円の減となり、支出の第1款水道事業費用の決算額は6億1,781万3,983円で、予算額に対し1,030万2,017円の不用額となりました。

水道2ページをお開き願います。資本的収入及び支出につきましては、収入の第1款資本的収入の決算額は810万3,968円で、予算額に対し6,019万6,032円の減となりました。

水道3ページになりますが、支出の第1款資本的支出の決算額は2億9,594万3,391円で、予算額に対し841万6,609円の不用額となりました。なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額2億8,783万9,423円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額297万2,798円、過年度分損益勘定留保資金2億8,486万6,625円をもって補填させていただきました。

続いて、水道4ページをお開き願います。損益計算書により経営状況についてご説明申し上げます。なお、詳細につきましては、後ほど収益費用明細書にてご説明申し上げます。営業収益につきましては、6億2,056万6,340円で、前年度対比269万3,570円、0.4%の増となり、収益の根幹となる給水収益において約119万円の増収となったことと、ほかに加入金で193万円の増などによるものでございます。営業費用につきましては、4億7,209万9,412円で、前年度に比べ1,546万3,730円の減となり、その結果、営業利益は前年度対比1,815万7,300円、13.9%の増の1億4,846万6,928円となりました。

次に、水道5ページお願ひいたします。営業外収益は176万2,625円、営業外費用は1億1,493万9,591円となりました。当年度の損益につきましては、営業収益及び営業外収益から営業費用及び営業外費用を差し引いた経常利益は前年度対比202.6%増の3,528万9,962円で、経常収支比率については前年度対比4.1%増の106.0%となりました。次に、特別利益は過年度損益修正益の38万1,342円であります。特別損失は過年度損益修正損の316万3,449円であります。以上の結果、当年度純利益につきましては3,250万7,855円となり、前年度対比1,057万9,664円、24.6%の減となりましたが、黒字決算で終了いたすことができました。また、当年度純利益と前年度繰越利益剰余金を合わせた当年度末処分利益剰余金は1億206万6,505円となったところでございます。

次に、水道6ページの剰余金計算書につきましてご説明申し上げます。これは資本金及び剰余金の当年度変動額による当年度末残高計算表となっております。資本金の欄で、自己資本金の当年度の変動はなく、当年度末残高は前年と同額の10億693万5,238円で、借入資本金は企業債の償還による2億618万4,742円の減少で、当年度末残高は45億8,003万2,633円でございます。資本剰余金については、合計欄で除却費へ補填及びその他保証金などの受け入れにより当年度変動額は570万5,796円の増加となり、当年度末残高は24億8,471万4,707円となっております。なお、その他の保証金の受け入れについては、道路改良工事及び公共下水道工事等による水道管移設補償費でございます。利益剰余金につきましては、合計欄で当年度純利益3,250万7,855円の増加により当年度末残高は1億3,936万6,505円となり、資本合計につきましては82億1,104万9,083円となったところでございます。

次に、水道7ページをごらんください。剰余金処分計算書案でございますが、1,000万円を

減債積立金に、1,000万円を建設改良積立金にそれぞれ積み立て、処分後の残高は8,206万6,505円でございます。

次に、次のページ、水道8ページをお開き願います。貸借対照表により財産状況につきましてご説明申し上げます。資産の部につきましては、有形固定資産は建物や設備の減価償却などの減少により2億1,782万7,063円の減で68億8,354万3,640円となりました。水道9ページになりますが、流動資産は現金及び預金などの増で5,000万8,429円増となり、資産合計は前年度対比1億7,069万8,012円、2%減の82億5,890万7,177円となりました。一方、負債の部につきましては、営業未払い金、預かり金が減少となり、流動負債合計は前年度対比272万6,921円、5.4%減の4,785万8,094円となりました。

次に、資本の部につきましては、水道6ページの剰余金計算書のとおり、借入資本金で約2億618万円の減、次のページになりますが、資本剰余金で570万5,796円増の24億8,471万4,707円、利益剰余金で3,250万7,905円増の1億3,936万6,505円などにより資本金合計は前年度対比1億6,797万1,091円、2%減の82億1,104万9,083円となり、負債資本合計は資本合計と同額の82億5,890万7,177円で一致いたしております。

続きまして、水道37ページをお開き願います。収益費用明細書でご説明申し上げます。初めに、収益でございますが、1款水道事業収益の総額は6億2,271万307円で、前年度対比3,651万2,870円、5.5%の減となりました。これは昨年度固定資産売却収益により多かったもので、その結果でございます。

1款1項営業収益は6億2,056万6,340円で、前年度対比269万3,570円の増となりました。内訳といたしまして、1目給水収益は営業収益の96.4%を占め、5億9,808万7,833円で、前年度より119万190円、0.2%の増となりました。2

目加入金は687万5,000円で、内訳は新規加入が91件、口径変更が36件でありました。新規加入がふえたことによりまして加入金も193万円増となりました。4目その他営業収益につきましては1,371万3,507円で、各種手数料、消火栓移設及び修繕など一般会計からの負担金と、次のページになりますが、下水道使用料及び農業集落排水処理施設使用料の収納業務委託料の受託金でございます。5目他会計繰入金は、公共下水道工事に伴う給水管布設替工事費の189万円でございます。2項営業外収益は受取利息、雑収益、県補助金を合わせまして176万2,625円で、3項特別利益は過年度損益修正益の38万1,342円でございます。

次のページ、水道39ページをお願いいたします。次に費用でございますが、1款水道事業費用の総額は5億9,020万2,452円で、前年度対比2,593万3,346円、4.2%減となりました。1項営業費用は4億7,209万9,412円、前年度対比1,546万3,730円の減となっております。内訳につきましては、1目浄水及び配給水費は前年対比910万8,672円、7.5%減の1億1,294万7,224円で、これは主な内訳としまして職員人件費のほか各施設の管理業務、14節の委託料5,011万4,828円や17節の配水施設などの修繕費1,913万4,270円、次のページ、40ページになりますが、各浄水場中継所などの20節の動力費2,657万2,515円などの費用でございます。3目業務及び総係費は前年度対比728万9,881円、15.7%増の5,367万6,726円で、内訳については、職員人件費、定時補助職員及び未収金徴収員の賃金、次のページ、41ページになりますが、電算業務などの委託料620万6,053円、料金等の取扱手数料199万7,004円、会計システム機器賃借料93万3,903円などでございます。

なお、手数料のコンビニ収納取扱手数料ですが、60万6,616円、それでコンビニ収納については、平成24年度は5,869万3,176円、件数にし

まして9,743件で、前年度と比較しますと、件数では1,041件、収納額につきましては942万6,704円増となっております。

次に、水道42ページお願いいたします。4目減価償却費は3億56万8,178円で、営業費用の50.9%を占め、前年度対比60万5,478円の増となっております。5目資産減耗費は490万7,284円で、寺泉配水池電磁流量計・量水器交換などによる固定資産除却費で、前年度対比1,425万417円の減となりました。2項営業外費用につきましては、企業債の支払利息及び雑支出合わせて1億1,493万9,591円で、前年度対比544万7,047円の減となったところでございます。3項特別損失は316万3,449円で、冬期水道料金精算還付金、不納欠損処分金などでございます。不納欠損処分につきましては、水道料金に係るもので、平成18年度分46件で、転出後、所在不明、会社倒産、自己破産、時効などにより回収不可能と判断し、不納欠損処分させていただいたものでございます。

次に、水道43ページお願いいたします。資本的収支明細書についてご説明申し上げます。初めに収入でございますが、第1款資本的収入の総額は、事業量の減少に伴い前年対比966万8,452円、54.4%減の810万3,968円となりました。内訳につきましては、1項その他の保証金は公共下水道事業及びその他事業に伴う配水管布設替補償費651万2,168円、2項分担金及び負担金159万1,800円は消火栓設置工事で一般会計から負担金としていただいたものでございます。

次に、支出でございますが、第1款資本的支出の総額は前年度対比270万6,331円、0.9%減の2億9,297万593円になりました。内訳につきましては、1項建設改良費といたしまして、1目事務費は建設に関する職員人件費などでございます。次のページになりますが、2目配水施設整備費は4,379万7,323円で、県市関連工事に伴う配水管布設替工事費及びそれに伴う設計業

務委託料などでございます。なお、工事の概要につきましては、水道15ページに記載しております。3目資産購入費は1,571万6,627円で、寺泉配水池電磁流量計、第2水源地蓄電池、量水器及び車両などの購入費でございます。なお、資産購入の概要につきましては、水道19ページ、20ページに記載しております。2項1目企業債償還金につきましては、前年度対比1,432万9,350円、7.5%増の2億618万4,742円でございます。

以上、平成24年度長井市水道事業会計決算の概要でございます。ご審査の上、ご認定賜りますようよろしくお願い申し上げます。

それでは、議案第58号 平成24年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてご説明申し上げます。

本案は、昨年、地域主権改革一括法の一部の施行に伴い、地方公営企業法の改正により、議会の議決を得て利益及び資本剰余金を処分することとなり、その未処分利益剰余金を処分するため提案いたすものでございます。

なお、処分の内容でございますが、決算書の水道6ページ、剰余金計算書及び7ページの剰余金処分計算書をもとに平成24年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金1億206万6,505円のうち1,000万円を減債積立金に、1,000万円を建設改良積立金に積み立て、残余を繰り越したすものでございます。

以上よろしくご審査賜りますようお願い申し上げます。

平成24年度長井市各会計決算に関する総括質疑

○蒲生光男委員長 以上で概要の説明が終わりました。